

# Andza [アンザ]



本体：オーク無垢材・積層合板・プリント紙化粧繊維板  
張り地：ファブリック（ポリエステル93%・アクリル7%）  
本体クッション中材：ライトウェーブ（ポリエチレン100%）・ウレタンフォーム  
ピロークッション中材：ポリエステル樹脂綿・ライトウェーブ（ポリエチレン100%）

低いソファが叶える、居心地のいい居場所



## ごろ寝ローソファ200

サイズ：W1990 D905/SD640 H575/SH250（伸縮時）  
W1990 D1145/SD1040 H495/SH250（伸長時）

定価：¥288,970（税込）

## ごろ寝ローソファ180

サイズ：W1805 D905/SD640 H575/SH250（伸縮時）  
W1805 D1145/SD1040 H495/SH250（伸長時）

定価：¥280,500（税込）



木部



座面



座面



Made in JAPAN

モーブルの商品は自社で企画し日本国内の自社工場で生産しています

Meuble  
株式会社モーブル



# PICK UP



## 床からわずか25cm

脚を無くし、座面を低くしているため、小さなお子様や、ペットの乗り降りがしやすくなります。  
また、本体の高さが低いので、空間を広く演出します。



## ごろ寝もできる広い座面

シングルベッドサイズのマットレスをそのまま使った広さだから、みんなで足を伸ばして座れます。また本格マットレスを採用しているため、お昼寝にも最適です。



## ローテーブルと好相性

25cmの座面高は、テーブルも使いやすい高さです。  
和室でもなじみやすく、ソファの上でも床座生活に近い感覚で過ごせます。



## 洗えるクッションだから中身から清潔

座面もクッションも全てカバーリング仕様。ファスナーを開けて中材を取り出しカバーも中材のLITEWAVEも水洗い可能です。（※ウレタンは洗えません。）



## 硬、柔らかい座り心地のクッション

座り心地は硬め。低床ソファの弱点である柔らかすぎて立ち上がりにくい問題を解決しています。マットレスでも好評のLITEWAVE搭載で耐久性にも優れています。



## 無垢材を贅沢に使用

側面にはオーク無垢を贅沢に使用し、無垢材ならではのぬくもりと高級感を演出します。

# 一人で簡単に伸縮可能

伸ばし方

縮め方



座面下のフレーム中央部分をつかんで、手前に引き出します。本体を壁につけたまま出来るので、移動の手間はあります。

ピロークッションを座面の前部に並べます。背もたれの中央をつかみ、手前に折りたたみます。

座面下のフレーム中央部分をつかんで止まるまで奥へ押し込みます。

背もたれを起こしピロークッションを並べれば完了です。

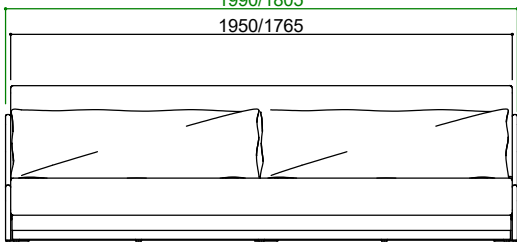
## 選べる2色の組合せ



— 外形寸法 —    — クッション寸法 —

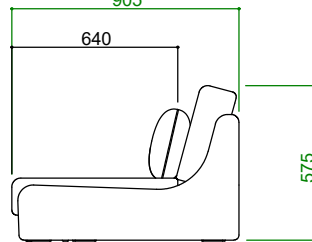
(伸縮時)

1990/1805  
1950/1765

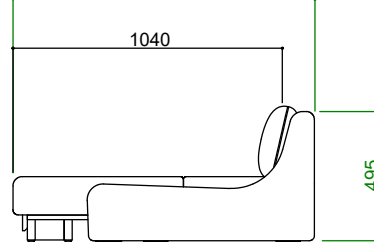


(伸長時)

905



1145



# らくらくカバー

ごろ寝ソファの日々のお手入れを軽減するため、被せるだけの専用カバーが誕生しました。着脱の手間を楽に、直ぐに外せてこまめに洗える専用カバーです。

2色対応

アイボリー

グレー



## らくらくカバー180

張地：ファブリック（ポリエステル93%・アクリル7%）

定価：¥33,880（税込）

## らくらくカバー200

張地：ファブリック（ポリエステル93%・アクリル7%）

定価：¥35,530（税込）



※「らくらくカバー」にビロークッションは付きません



1.ソファ座面の表側に、らくらくカバーを覆いかぶせます。



2.上下先端部分を、座面の先端部分に差し込んで完成です。かぶせるだけで簡単に模様替えができます。カバーをかぶせたまま伸縮可能です。



## 天然木を使用した商品の注意点

オークには「虎斑」と呼ばれる細胞組織があります。木材用語では放射組織と呼ばれ、細胞全体の5~20%を占め立ち木のときは養分貯蔵の役割を担っていた細胞です。言葉の通り中心部分から年輪を横断するように放射状に広がっています。この放射組織は縦に伸びる繊維方向と直角に交わり、細胞の種類が異なるため、木材を製品に加工した場合必ず材面に模様が見れます。天然木特有の風合いの為、ご理解いただきますようお願いいたします。



## ファブリックの注意点

ピリングとは繊維の表面が使用中にこすられたりもつれたりするため、毛羽の小さなもつれが絡み合い、次第に大きくなって出来た毛玉のことです。これは素材の特性上使用の際に避けられない現象で、その発生を完全に防止することは出来ません。出来てしまった毛玉は、毛玉取りやはさみなどで、地組織を傷つけないように丁寧に刈り取ってください。毛足の長いものに関しては、毛羽を刈りすぎてそこだけハゲたようにならないように、生地から浮かせて切るなど注意が必要です。引きちぎったりガムテープを貼り付けてむしり取るのは厳禁です。毛玉が取れてもさらに毛羽立ち、新たな毛玉の元ができてしまいます。

